



オアシス

文責：副学長
桑原雅次

出雲芸術アカデミーだより 2020年1月21日発行 第21号

新しい年を迎え、気持ちも新たに切り替えるのによい機会となったことと思います。今年の干支は子年（ネズミ年）ですが、十二支のサイクルがスタートする年でもあります。そして、2020年は何といても東京オリンピック・パラリンピックが夏に開催される年で、我が国にとって大きな節目となります。株式市場では「子年は繁栄」という格言があり、株価が上昇する年とされているそうです。世界情勢が不穏の中であって、オリンピック・パラリンピック開催が、その理念によるまさに平和祭典になることを祈るばかりです…。

◎ 出雲の春音楽祭2020について〈第2弾〉

出雲の春音楽祭で展開しているシリーズ「連作交響神楽」は、現代において若手作曲家の中でも第一人者的存在である“平野一郎”氏の作品です。全9曲からなる壮大なこの曲は、出雲の春音楽祭2017において、第一番〈国引（くにびき）〉が世界初演されました。次の年から順次世界初演が続き、第5番までが初演済みとなっています。いよいよ第6番〈国譲（くにゆすり）〉で終演となるのですが、当初の計画で一度は見送られていた間奏曲〈湖〉を復活させることになりました。作曲家の構想全9曲は、出雲大社本殿の柱の数に由来し、その中心となる〈湖〉が生まれることで、連作全体がより本質に迫るものになることが期待できます。その間奏曲〈湖〉の内容を少し紹介します。

出雲世界の中央に横たわる宍道湖・中海・神西湖。その湖面には四季・二十四氣・七十二候による季節の風景を千変万化する様子が映し出されます。その場面を巫女めいたソプラノ独唱とオーケストラが奏で、1年が12月で区切られるように12場面に区切られ、1月分をぴったり1分で表現し、全体が12分間で演奏される間奏曲という興味深い作品となっています。

《作曲家による説明》

神々の首都、出雲の地で生まれようとする交響神楽・間奏曲〈湖〉は、忘れられた神話の姿を甦らせ、音霊（おとだま）の森や魂ざわめく湖へと誘う世界が描かれることでしょう…。

もう一つは、出雲の春音楽祭2019で初演された「連作交響神楽」第四番〈大穴牟遲（おほなむち）〉が再演となりました。振り返りの機会が与えられたことで、交響神楽に対する興味・関心がさらに深まっていくことと思います。

最後に、出雲の春音楽祭2020は、「間奏曲」が大きなテーマとなっています。第1部は、日本の伝統音楽である邦楽アンサンブルをお届けします。日本人が脈々と受け継いできた心の音霊（おとだま）が演出されることでしょう…。第2部は、NHKの大河ドラマメインテーマと大作曲家たちの間奏曲を中心に構成された魅力的なステージが演出されます。



第3部は、「出雲から世界へ新時代の間奏曲」として、先に述べた“平野一郎”作品をご堪能ください。

《楽器体験の様子》

◎ 春まちコンサート2020への誘い！

出雲フィルハーモニー・アウトリーチ事業<音楽と音楽家の出前>について、前号でもお伝えしましたが、アウトリーチ事業に関わった音楽家たちが一堂に集まりコンサートを開催します。各施設を訪問した5つのアンサンブルと特別に編成されたミニ・オーケストラによるコンサートです。弦楽器や管楽器、打楽器に声楽と多彩なプログラムでお届けします。アウトリーチ事業を通して、音楽家たちと各施設の方々が出会った皆様との再会や、残念ながら応募に恵まれなかった施設の皆様、そして、クラシック音楽に関心のある皆様のご来場を心よりお待ちしております。

- ◆開催日時：2020年2月11日[火・祝] 14:00 開演
- ◆会場：平田文化館 プラタナスホール
- ◆入場料：高校生以下無料、一般 500 円
- ※就学前のお子様も入場できます！



◎ 人は言葉によって繋がっている！

以前、臨床心理士による講演会に参加したことがありました。その方は、東日本大震災後に東北地方に出かけられ、多くの被災者の方々の中に寄り添う活動を定期的に続けています。その様子をうかがう講演の中で、被災者や困った方々への言葉がけが大変参考になりました。本アカデミーも受講生、指導講師、事務局職員と様々な立場の人々がいます。人と人とのコミュニケーションツールは、やはり言葉によるところが大きいと思います。挨拶や励ましの言葉は、生きるうえでとても勇気づけられます。しかし、反面、心無い言葉がけで傷つくこともあるかも知れません…。どのように接したら相手の心に寄り添えるのか、参考になるアドバイスがありますので、本アカデミーの場面に置き換えて実践してみてください。仲間と何かを成し遂げるにはやはりコミュニケーション力が不可欠に思います…。

声かけのアドバイス

- ① 忠告や命令はせず「いつでも話を聞くよ」と伝える
- ② 相手の話に耳を傾け、根掘り葉掘り聞き出さない
- ③ 数年たったのだから「泣くのはやめるべきだ」と決めつけない
- ④ 「私にはわかる」とわかったふりをしない
- ⑤ 聞いたことをむやみに他の人に話さない
- ⑥ お金のことは聞かない

傷つける言葉

- ①がんばろう！
- ②泣いてはダメ！
- ③早く元気になってね
- ④私にはあなたの苦しみがよくわかる
- ⑤あなただけではない あなたの方がまし
- ⑥もう立ち直れた？
- ⑦時がすべてを癒すから大丈夫
- ⑧長い間苦しまなくてよかったね

【このたよりは、本アカデミーホームページでも掲載します <https://www.izumo-zaidan.jp/academy/>】